

令和5年度 自己点検・評価報告書 検証結果

本学では、大学全体の内部質保証に責任を持つ「内部質保証推進会議」の組織体制のもと、学部、研究科及び各種委員会等がPDCAサイクルに基づいた点検を行い、年度毎に「自己点検・自己評価委員会」で作成する“自己点検・評価報告書”を「内部質保証推進会議」で評価・検証を行っています。

また、「内部質保証推進会議」では、検証の結果が次年度の活動に反映されるよう、各部局・部署に対して改善措置を指示する役割も担っています。

「自己点検・自己評価委員会」から提出された“令和5年度自己点検・評価報告書”をもとに、各部局の取組みについて検証した結果、学生の単位修得状況や国家試験の合格率、就職率等を活用した学修成果の点検・評価、全学部生を対象とした学生アンケートによる学修時間・学修行動の把握及び学外関係者の意見・要望を踏まえたPDCAサイクルの体制等も整いつつあり、教育の質の向上につながる取組みが実施できていることを確認しました。

単年度で変化がある教員数及び学生数に関する事項については、毎年度確実に達成できるよう、今後も将来計画を踏まえたPDCAサイクルに取り組んで参ります。

令和6（2024）年9月

九州看護福祉大学
内部質保証推進会議